

2月 11日 帆引き船をつくろう！を開催



船体には実際に使われている赤杉材を使用

**親子でチャレンジ**  
千代田公民館で、青少年育成が  
すみがうら市民会議主催のウイ  
クエンドコミュニティースクール  
事業「帆引き船をつくろう！」が  
行なわれました。  
この日は三十五人が参加し、縮  
尺四十分の一の帆引き船の模型製  
作にチャレンジしました。この模  
型は霞ヶ浦帆引き船まつり実行委  
員会が考案したもので、実際の帆  
引き船に使われている赤杉材を使  
用しているため、作り終えたとき  
には実物と同じ風合いになるのが  
特徴です。  
参加者たちは、同実行委員会  
の方々の丁寧な指導のもと、親子  
で協力しながら帆引き船を製  
作。完成した模型を前に笑顔がこ  
ぼれていました。

いばらきの春観光キャンペーンに参加 2月 23日

**春のかすみがうら市**  
**観光大使がPR**  
県外からの自動車観光客の玄  
関口にあたる常磐自動車道の友部  
と守谷サービスエリアで、(社)  
茨城県観光物産協会主催による  
「2008 いばらきの春観光キャ  
ンペーン」が行なわれました。  
今回は、「いばらきの春」をテー  
マに、県内の観光資源への誘客促  
進とイメージアップを図るため  
に行なわれたもの。  
当市では、守谷サービスエリ  
アに観光大使が参加。観光パンフ  
レットやノベルティを配布し、市  
の観光資源・事業などをピアー  
ルし、「イチゴ狩りのできる場所  
がたくさんあります。春のかす  
みがうら市へどうぞお越しくださ  
い」と呼びかけを行ないました。



守谷SAに、県内各地から観光関係団体、観光大使、マスコットが集結

2月 27日 市内の農家が家族経営協定を締結



市などの立会いのもと調印を取り交わす家族

**家族の役割分担などを書面に**  
家族経営協定調印式が、あじさい  
館で行なわれ、市内の農家九組二十  
人が協定書を取り交わしました。  
家族経営協定とは、経営方針や  
役割分担、報酬、休日などを明確  
にすることで、農業後継者には将  
来に希望が持てるよう、夫婦には  
適切な役割分担のもとで農業に従  
事できるよう、平成八年度から土  
浦農業改良普及センターと市が連  
携し、推進しているものです。現  
在、市内では二十九組、県内で  
二千二百組以上の家族が締結を  
しています。  
土浦農業改良普及センターの神  
永センター長は、「特に女性や若  
い農業者が個人として尊重され、  
経営のパートナーとして位置づけ  
られることが大切」と話しました。

志筑と美郷 交流の軌跡

**志筑地区**  
戦国時代 千代田地区の土豪  
は、小田氏と、大塚氏の勢力  
下に。

**美郷町千畑地区**  
1590年 出羽国本堂（現在の  
秋田県美郷町千畑地区）で  
は、領主の本堂忠親が豊臣秀  
吉方につき、小田原城合戦に  
参陣。



▲忠親が小田原城合戦で使  
用したとされる采配。領地替  
の際に、中志筑八幡神社に奉  
納され、現在は、市指定文化  
財として、志筑小学校で保管。

1600年 関が原の戦い  
家康から出羽国在国の命令。

1601年 家康による領地替の命令  
1602年 常陸佐竹氏が出羽国へ、  
忠親の長子茂親が志筑領（現在の  
千代田地区）へ赴任。

— 400年の時を経て —

歴史研究や果樹栽培技術につ  
いては交流を重ねる。

2001年 羅漢仏を寄贈  
志筑地区の長興寺から千畑町へ。  
2003年 小学生交流事業スタート  
年に2度、定期的な交流を開始。



2月 7日～9日

秋田県美郷町小学生との交流事業

**再会を喜んだ三日間**  
秋田県仙北郡美郷町において、志筑小  
学校の四年生十九人が美郷町千畑地区の  
小学生と三日間にわたり交流を行ないま  
した。  
この事業は、今年で5年目を迎え、志  
筑小学校の児童と秋田県美郷町千畑地区  
の小学校の児童が夏と冬に相手の地を訪  
れる相互交流をしています。  
今回の交流は、志筑小の子どもたちが  
美郷町を訪れる形で行なわれ、夏に会った  
子どもたちとの再会を喜んでいました。  
美郷町では、本堂公が治めていた城跡  
や郷土資料館を見学し、秋田における本  
堂公の功績や雪国の暮らしを学びました。  
また、千屋小学校では、この交流事業に  
あわせて雪祭りが開催され、雪が六十セ  
ンチメートル以上積もったグラウンドで雪  
玉入れ競争やソリレースなどをして子ど  
もたちは交流を深めました。  
この三日間で子どもたちは、雪国でのく  
らしを体験したばかりでなく、地元の方々  
の暖かい心に触れることができました。

下稲吉小に新校舎（北校舎）が完成 1月 31日完成

**旧プレハブ校舎が**  
**モダンな新校舎に**  
下稲吉小学校の校舎裏手に、鉄  
骨二階建て延床面積八八七・五二  
平方メートルの新校舎が完成しま  
した。建築以前はプレハブ校舎(図  
工室・家庭科室)が建っていました  
が、老朽化と児童の数が増えた  
ことによる教室不足解消のために  
今回建て替えたものです。  
新校舎は「北校舎」と命名さ  
れ、一階には普通教室四教室、二  
階には図工室・図工準備室・家庭  
科室・家庭科準備室が、また一、  
二階ともにトイレが整備されまし  
た。  
ピッカピカの新校舎で、子供た  
ちは気持ちよくなるのびのびと学習に  
取り組んでいます。



新校舎の外観(上)と、  
図工室での授業の様子(左)